

ママブラス郡山アマービレ

吹奏楽で温かい演奏を行い、その演奏を広く地域住民に楽しんでもらうことを目的として、子育て世代のメンバーが集い平成22年に結成しました。

親子で参加できることをコンセプトに活動しており、月1～2回の公民館での練習や、幼稚園や保育園、様々なイベントなどで、子ども向けの曲をメインにした演奏を行い、音楽文化の向上と市民が音楽に親しむ機会の創出に取り組んでいます。



練習には子どもも一緒に参加しています

みんなでいきいきはらだプロジェクト

平成27年11月の介護予防大会を契機に、いきいき百歳体操に取り組み、平成28年から住民主体で地域の支え合いや介護予防ための活動を実施しています。

筋力の維持向上のためのいきいき百歳体操の開催のほか、高齢者世帯の日常生活の支援を行う高齢者世帯支援隊活動、一人暮らし高齢者を訪問し、安否や暮らしぶりを確認する活動など、地域コミュニティ推進活動に取り組んでいます。



おもいで負荷をかけながら行う
いきいき百歳体操

NGB99（西田元気なばあちゃん99の会）

99歳まで元気に暮らせるまちづくりと地域の活性化を目指し、西田町地域振興協議会が中心となりプロジェクトがスタートしました。

オリジナルの歌と踊りをイベントなどで披露し、平均年齢74歳とは思えない、若々しいパフォーマンスが好評を博しています。

また、オリジナルソングに合わせたプロモーションビデオを制作し、まちの元気な姿と魅力を全国に発信し、西田町を盛り上げる活動に取り組んでいます。



梅畑で「ふるさとありがとう」を
踊る様子

青少年部門

郡山市立赤木小学校

地域交流を通して「支えあい」「学びあい」「高めあい」のできる子どもを育てています。

鼓笛パレードでは、交通安全や防犯を呼びかけ、明るいまちづくりに取り組んでいます。また、地域との交流活動では、「人・もの・こと」と積極的にかわり、地域との連帯感やふるさとを愛する心などを育てています。

学校生活でも、地域交流での学習を活かし、どの子どもも赤木プライドをもって活動しており、たくましく生きる力を醸成する有意義な機会となっています。



逢瀬川沿いの鼓笛パレードで
交通安全と防犯を呼びかけ

郡山市立多田野小学校

4年生児童が総合的な学習の時間を中心に、自分たちの地域の誇りである鯉の消費拡大をテーマに地域づくり活動を行っています。

鯉の養殖の現状や水資源の歴史に対して理解を深めるための現地踏査や、教育機関や飲食店の協力を得て、鯉の栄養成分や調理方法等の取材を行い、調査内容を壁新聞にまとめて祖父母参観で披露しました。

また、活動の様子やレシピの開発、食品としての有効性をメディアを通して発信するなど、鯉の消費拡大に向けて提案性の高い活動に取り組んでいます。



熊田養鯉場で
鯉の給餌作業の様子を取材

平成29年度 郡山市市民活動推進顕彰事業

「まちづくりハーモニー賞」 受賞者紹介



「まちづくりハーモニー賞」とは？

市民の皆さんが自主的、主体的に行う地域の特性を生かした創造性豊かな地域づくりや、多くの方に影響を与えることが期待できる波及効果のある市民活動など、優れた取り組みを行っている個人や団体、事業者を表彰することで、協働のまちづくりを推進する制度です。

今年度は、「市民活動実践部門」、「青少年部門」において優れた取り組みを実践している15団体が受賞されましたので、御紹介します。



市民活動実践部門

郡山市開成館案内ボランティア

日本遺産『未来を拓いた「一本の水路」』構成文化財であり、安積開拓と安積疏水の歴史を伝える施設である郡山市開成館において、入館者を案内するボランティアとして平成12年に設立しました。

小中学生をはじめとした来館者に安積開拓と安積疏水の歴史をより身近に分かりやすく感じてもらうため活動しており、毎年約4,000人の方々に地域の歴史的魅力を伝え、文化の振興に取り組んでいます。



子どもたちに安積開拓の歴史を分かりやすく紹介

郡山南川ホタル愛光会

昔のように魚影も多く、ほたるが飛び交い、水遊びのできる南川を復活させたいと立ち上がりました。

南川の定期清掃のほか、水質検査、ほたるの飼育・放流など、ほたるの復活に向けた環境改善活動を行っています。

また、地域の自然環境の大切さを伝える、6月の「ほたる祭り」などにより、ほたるを通じた地域のふれあいや子どもの育成にも取り組んでいます。



毎月実施している南川清掃活動の様子

笹川語りの会

永盛地域公民館の事業をきっかけに、地域の文化である民話を後世に語り継ぐため平成22年に設立しました。

民話の語り部として、地域の歴史や文化、話す技術などを学習するとともに、地域行事へ参加し、地域住民に民話を披露しています。

また、活動は笹川区にとどまらず、市内の小学校や福祉施設等で年間60回以上の伝承話を披露し、民話を通じて、地域社会貢献活動に取り組んでいます。



小学校で民話を披露
子どもたちが熱心に聞き入ります

手話サークル「こおりやま」

手話を通して学習と交流を深め、聴覚障がい者に対する正しい理解を社会に広めることを目的として設立しました。

手話の学習会を開催し、手話を広め、ろう者が手話を使用しやすい環境づくりに寄与しています。

また、各種イベントへの参加や学校への手話通訳者派遣活動などを通して、障がい者に対する理解と手話への関心が持てるよう啓発活動にも取り組んでいます。



手話の学習会では、手話を使って
会話をしています

水門町町内会

昭和61年の洪水被害を教訓に、自然災害に対する意識の高揚を図るための活動を行っています。

平成19年からは、大雨による避難情報を知らせるチラシを作成し、町内へ配布することで防災に対する意識啓発を図っています。

また、福島県立テクノアカデミー郡山と災害時の避難支援に係る協定の締結や町内会会員の避難訓練、谷田川の河川敷や市道・県道の草刈作業など、地域防災活動に取り組んでいます。



水門操作訓練で、
操作方法について確認する様子

地域サロン まるわ

互いに声をかけあえる地域づくりに寄与する目的で平成20年に会を結成しました。

週に2回、健康体操や健康に関する勉強会などのサロン事業のメニューを実施し、参加者が楽しく過ごす「地域のお茶の間」として活動しています。

また、地域の方を集めた多世代交流会や子どもの一時預り・送迎サポート事業なども実施し、明るく住みよい地域づくりに取り組んでいます。



サロン事業でお雑様作りを行っている様子

特定非営利活動法人 ココネット・ママ

親も子ども笑顔で楽しめる子育てをするために、「あったらいいね、こんなサポート」を自分たちでやってみようとして平成15年から活動を始めました。

主な活動は、子どもを預かる「学童保育室運営事業」や「託児事業」、親子で楽しめる「イベント企画」、ファミリーサポートセンター運営をはじめとした「委託事業」で、子どもたちが安全に健やかに育つことができる環境づくりに向け取り組んでいます。



子どもが主役の夏祭り

特定非営利活動法人しんせい

東日本大震災発生後、被災した障がい者の支援に当たった「交流サロンしんせい」が前身となり、平成25年に設立しました。

企業からの技術支援等を受け協働事業商品の開発を行い、被災した障がい福祉事業所などとワークシェアリングし、事業所それぞれの仕事を創出する取り組みを行っています。

さらには、避難している障がい者を支援し、福祉的就労へ繋げ、孤立を予防する活動も行っています。



製菓指導を受ける様子

芳賀地区学校支援ボランティア推進協議会

芳賀地区にある学校の「多種多様な学習体験の確保」「地域の活性化と地域教育力の向上」「児童の安全の確保」を目的に、各種団体により構成され、平成21年に設立しました。

小学校1・2年生の水泳学習時には、児童と一緒にプールに入り児童の安全を確保するとともに学級担任と協力して水泳指導を行い、子どもたちに水遊びの楽しさを伝える取り組みを行っています。



水泳学習時にプールに入り
指導する様子

日和田郷土史会

郷土の歴史の記録と人材の育成を目的に、平成4年に発足しました。日和田町の歴史の記録を残すために、「日和田歴史アルバム」などの冊子を作製。「会報」を発行し、会の活動情報を配布しています。

また、日和田町の史跡や文化、産業などをテーマにした「日和田郷土カルタ」を製作し、小学生からお年寄りまで楽しみながら地元の歴史文化に興味を持ってもらうなど、地域の文化振興に取り組んでいます。

平成29年からは高倉人形に「いき」を吹きこむ活動を開始しました。



カルタ解説講座に熱心に聞き入る様子